

2020 年度業務実績報告書

提出日 2021 年 1 月 21 日

1. 職名・氏名 准教授 田中求之

2. 学位 学位 修士、専門分野 経済学、授与機関 京都大学、授与年月 S62.3

3. 教育活動

(1) 講義・演習・実験・実習	
1 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 2017 年度以前入学 通年：経営組織論 (4 単位) 2018 年度以降入学 前期：社会システム論 (2 単位)、後期：経営組織論 (2 単位) 配当年次はいずれも 2 年生	
2 内容・ねらい 組織を社会システムの観点から解き明かし、そこでの行動のあり方、管理の諸問題についての理解を深める	
3 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 抽象的になりがちな理論の説明において、身近な行動などを実例としてとりあげつつ論じた。前期は社会とコミュニケーションについて議論を深め、後期は組織の現場での働き方、問題についての議論を深めた。遠隔授業ではオンデマンド配信用の独自教材を作成して、受講生が学びやすいように工夫した。	
1 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 情報システム (2 単位) 3 年生	
2 内容・ねらい 身近な情報機器の原理、技術、業界の動向や特性を理解させる。	
3 講義運営上の工夫 情報技術および情報機器関連の産業の進展にあわせて、つねに最新の動向を取り上げるように情報収集などに授業準備を丹念に行って講義に臨んだ。日経新聞の IT 関連の記事が理解できるようになることを目標とした。遠隔授業ではオンデマンド配信用の独自教材を作成して、受講生が学びやすいように工夫した。	
1 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 演習 I (4 単位) 3 年生 演習 II (4 単位) 4 年生	
2 内容・ねらい 演習 I：バーナードの『経営者の役割』の読解を行った。古典の読解によって経営組織論を深く体系的に学ぶことを目的とした。 演習 II：『経営者の役割』の輪読を進め、最後まで読みきくことを目指した。さらにはバーナードを踏まえた経営学のテキストの学習も行った。	
3 演習運営上の工夫 演習 I：学生たちにはわかりにくいと思われる点に関しては、時代背景なども含めて、くわしく解説を行った。 演習 II：テキストの学習に限らず、時事問題などの解説なども含めた 遠隔授業中心になったため、オンデマンド配信用の独自教材を時間をかけて作成して、学生が学習しやすいようにした。	
1 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 基礎ゼミ (2 単位、毎年開講) 2 年生	
2 内容・ねらい	

専門課程の学習の前提となる一般的な知識と技能の確認と強化	
3 演習運営上の工夫	社会科学を学ぶために基礎的な知識（地理、歴史、公民および科学一般）の再確認を重点にすえて、基礎知識の強化を図った。また、放射線や感染症など時事問題に関連する事項の知識も身につけさせた。遠隔授業ではオンデマンド配信用の独自教材を作成して、受講生が学びやすいように工夫した。
1 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等	WS 社会システム論（2単位） 大学院
2 内容・ねらい	組織を社会システムと捉える視点にたつことで、その特性や個人の行動について考える
3 講義運営上の工夫	ルーマンの『公式組織の機能とその派生的問題』の前半部分を、パラグラフごとに要点を確認し議論しながら読んでいくことで、社会システム、公式組織に関する理論的な理解と、日常的な現象の解明に努めた。遠隔授業ではバーチャルカメラの導入し、議論をしながら板書するスタイルでの授業が行えるようにした。
(2)その他の教育活動	
1 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等	
2 内容・ねらい	
3 講義運営上の工夫	

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
① 論文
②著書
③学会報告等
④ その他の公表実績
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動
学会での役職など
学会・分科会の開催運営
(3)研究会活動等
① その他の研究活動参加
② その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績

5. 地域・社会貢献活動

(1) 学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 福井東郷ふるさとおこし協議会 常任理事 福井県立図書館運営懇話会委員 副会長 福井県あかるい選挙推進協議会 委員
② 国・地方公共団体等の調査受託等
③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥ その他
(2) 大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講
② 社会人・高校生向けの講座 福井県立丹生高校 開放講義
③ その他
(3) その他 (個人の資格で参加している社会活動等)

6. 大学運営への参画

(1) 補職
(2) 委員会・チーム活動
学内 Web 運用チーム 遠隔授業支援 ワーキンググループ
(3) 学内行事への参加
(4) その他、自発的活動など
経済学部メーリングリスト管理 経済学部資源共有サーバの管理運用